



「叡智が世界をつなぐ」を建学理念に 多様性に富んだ環境で、グローバル人材を育成

Ranking

全国 第2位
全国私立大 第1位

受験生が評価する大学

グローバルな
イメージがある大学

上智大学は、「叡智が世界をつなぐ」を建学の理念として、グローバル社会で活躍する人材を輩出しています。先進的な外国語教育と上智大学の個性とも言われる「人間教育」を推進し、文系理系9学部が一つのキャンパスに集う環境の中で、留学生や教員と連携して、多様な・複合的なグローバル課題に取り組んでいます。

また、国際貢献できる人材を育てるために幅広いカリキュラムを構築しています。国際協力、ビジネス、メディアなどの講義科目を開講、協定を結んだ実習先（グローバル企業や国際機関の日本代表部、各国大使館など）でのインターンシップ、世界84カ国345校の交換留学協定校で学ぶ留学プログラム、実践型プログラムなど多彩で、海外大学とオンラインで交流するCOIL（Collaborative Online International Learning）科目の展開も促進しています。



Ranking

全国私立大 第6位

大学卒業後の進路

2025年著名400社実就職率

上智大学は上記ランキングのほか、「2025年著名400社業種別実就職率」でマスコミ編が全国第3位、サービス編が全国第5位、商社編が全国第7位、通信編が全国第9位、金融編が全国第10位に入るなど就職に強い大学として定評があります。それを支えているのが、きめ細かいキャリア・就職サポートで、多くの支援プログラムを用意しています。例えばSelf-Discoveryプログラムは、全学年を対象にインターンシップガイダンス、夏期集中講座、卒業生講演会、OB・OG交流会を展開。主に3、4年生対象の就職支援プログラムでは、総合就職ガイダンスや、合同企業研究会、業界研究シリーズなどを実施しています。

キャリアセンターでは、このほか模擬面接や筆記試験対策なども実施。また、学生からのニーズが高い就職に関する個別相談に対応するため、活動最盛期にはキャリアセンター職員を含め、毎日5人前後のキャリアカウンセラーが常駐しています。こうした的確な情報提供を行うとともに、学生一人ひとりの豊かな人間形成に資するよう支援しています。



2026年度入試 TOPICS

一般選抜は、TEAPスコア利用方式（全学統一日程入試）、学部学科試験・共通テスト併用方式、共通テスト利用方式の3方式で実施します。国際教養学部、理工学部英語コース、SPSFを除くすべての学部・学科で全方式を実施し、出願資格を満たしていれば、各方式内の複数学部・学科や3方式の併願が可能です。なお、神学科、心理学科、看護学科では、全方式で2次試験（面接）を行います。詳細は上智大学入試情報Webサイト（adm.sophia.ac.jp）をご確認ください。

主な Ranking Data

2024年外務省専門職合格者数	朝	全国第3位
アナウンサーの出身大学(女性)	朝	全国第3位
2025年著名400社業種別実就職率(マスコミ)	卒	全国第3位
2025年著名400社業種別実就職率(サービス)	卒	全国第5位
2025年著名400社業種別実就職率(商社)	卒	全国第7位

Information

英語による学位プログラムを開設

英語による学位取得プログラム「Sophia Program for Sustainable Futures (SPSF)」を開設。このプログラムは、既存の総合人間科学部教育学科・社会学科、経済学部経済学科、総合グローバル学部総合グローバル学科（いずれも2020年開設）、文学部新聞学科（2021年開設）、経済学部経営学科（2022年開設）の6学科に設置。「持続可能な未来」についてグローバルな視点で取り組みます。

学部/学科情報

- 神学部／神学科
- 文学部／哲学科、史学科、国文学科、英文学科、ドイツ文学科、フランス文学科、新聞学科
- 総合人間科学部／教育学科、心理学科、社会学科、社会福祉学科、看護学科
- 法学部／法律学科、国際関係法学科、地球環境法学科
- 経済学部／経済学科、経営学科
- 外国語学部／英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科、イスパニア語学科、ロシア語学科、ポルトガル語学科
- 総合グローバル学部／総合グローバル学科
- 国際教養学部／国際教養学科
- 理工学部／物質生命理工学科、機能創造理工学科、情報理工学科